LR5-LAN ソケット通信 サンプルプログラム (Windows C++)

内容

LR5	-LAN ソク	rット通信 サンプルプログラム(Windows C++)	. 1
1.	概要		. 4
1.	1. シス	テム概要	. 4
2.	開発環境	5	. 4
3.	アプリケ-	ーション概要	. 5
3.	1. コマ	ンド操作説明	. 5
	3.1.1.	コマンド一覧	. 5
	3.1.2.	動作制御コマンド	. 6
	3.1.3.	クリアコマンド	. 6
	3.1.4.	状態取得コマンド	. 6
3.	2. 関数	対説明	. 7
	3.2.1.	関数一覧	. 7
	3.2.2.	LR5-LAN (ニ接続	. 8
	3.2.3.	ソケットをクローズ	. 8
	3.2.4.	コマンドを送信	. 9
	3.2.5.	PNS コマンドの動作制御コマンド送信	10
	3.2.6.	PNS コマンドのクリアコマンド送信	11
	3.2.7.	PNS コマンドの状態取得コマンド送信	12
3.	3. 定数	対説明	13
	3.3.1.	製品区分	13
	3.3.2.	PNS コマンド識別子	13
	3.3.3.	PNS コマンド送信データバッファサイズ	
	3.3.4.	PNS コマンドの応答データ	13
	3.3.5.	動作制御コマンドの LED ユニットパターン	13
	3.3.6.	動作制御コマンドのブザーパターン	14
3.	4. 構造	6体説明	15
	3.4.1.	動作制御データ構造体	15
	3.4.2.	動作制御の状態データ	15
4.	プログ	ラム概要	16
4.	1. LR5	-LAN に接続	16
4.	2. ソケ	ットをクローズ	17
		ンドを送信	
		シートで 込 信	
4.	5. PNS	3 コマンドのクリアコマンド送信	20

1. 概要

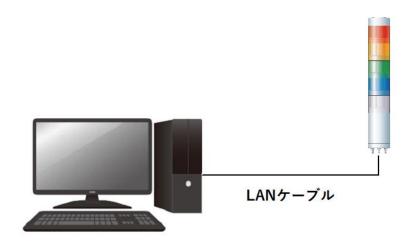
LR5-LAN をソケット通信で制御するための、サンプルプログラムの概要を記載する。

本プログラムは、パトライトが提供する DLL を使用せずに Microsoft Visual C++での制御をおこなうことを目的としている。

1.1. システム概要

本プログラムのシステム構成図は以下の通り。

本プログラムでは、1 台の LR5-LAN の機器をソケット通信で制御を行う。



2. 開発環境

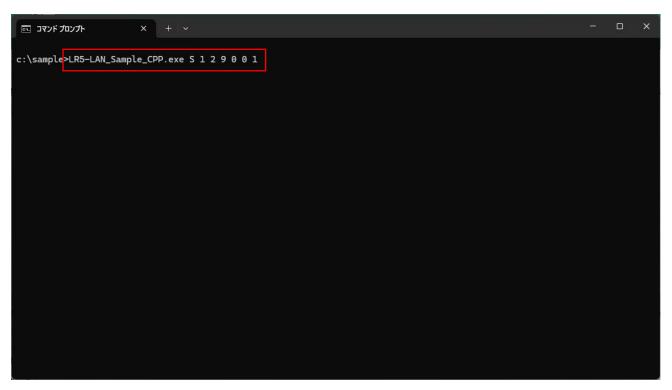
サンプルプログラムの開発環境を以下に示す。

開発環境		備考
開発 OS	Windows11 64bit	
開発言語	C++	
アプリ種別	CUI アプリケーション	
開発ツール	VisualStudio2022 Professional	

3. アプリケーション概要

3.1. コマンド操作説明

コマンドプロンプト上では、ビルド時に作成した LR5-LAN_Sample_CPP.exe のファイルの場所に移動して、コマンドライン引数を指定することで各動作のコマンドを実行される。



3.1.1. コマンド一覧

コマンド名	内容
動作制御コマンド	LED ユニットの各色のパターンとブザー(吹鳴・停止)を制御する
クリアコマンド	LED ユニットを消灯し、ブザーを停止する
状態取得コマンド	信号線/接点入力の状態と、LED ユニットおよびブザーの状態を取得
	する

3.1.2. 動作制御コマンド

以下のコマンドライン引数を指定して、コマンドを実行する

No.	コマンドライン引数	值
1	コマンド ID	S
2	LEDユニット赤	消灯:0
3	LEDユニット黄	点灯:1
4	LEDユニット緑	点滅 (低速):2
5	LEDユニット青	点滅 (中速):3
6	LEDユニット白	点滅 (高速):4
		シングルフラッシュ:5
		ダブルフラッシュ:6
		トリプルフラッシュ:7
		変化なし:9
7	ブザーパターン	停止:0
		吹鳴:1
		変化なし:9

例:LR5-LAN _Sample_CPP.exe S 1 2 9 0 0 1

3.1.3. クリアコマンド

以下のコマンドライン引数を指定して、コマンドを実行する

No.	コマンドライン引数	値
1	コマンド ID	С

例:LR5-LAN _Sample_CPP.exe C

3.1.4. 状態取得コマンド

以下のコマンドライン引数を指定して、コマンドを実行する

No.	コマンドライン引数	值
1	コマンド ID	G

例:LR5-LAN Sample_CPP.exe G

3.2. 関数説明

3.2.1. 関数一覧

関数名	説明
SocketOpen	LR5-LAN に接続する
SocketClose	ソケットをクローズする
SendCommand	コマンドを送信する
PNS_RunControlCommand	PNS コマンドの動作制御コマンド送信する
PNS_ClearCommand	PNS コマンドのクリアコマンド送信する
PNS_GetDataCommand	PNS コマンドの状態取得コマンド送信する

3.2.2. LR5-LAN に接続

関数名	int SocketOpen(std::string ip, int port)		
パラメータ	std::string ip	LR5-LAN の IP アドレス	
	int port	LR5-LAN のポート番号	
戻り値	int	成功:0、失敗:0以外	
説明	指定した IP アドレスとポート番号の L	R5-LAN にソケット通信で接続する	
関数の使用方法	// Socket クラスの変数を定義		
	SOCKET sock = NULL;		
	// メイン関数		
int main(int argc, char* argv∏)			
	1 {		
// LR5-LAN に接続			
ret = SocketOpen("192.168.10.1", 10000);		[′] , 10000);	
	if (ret == −1)		
{			
	return;		
	}		
	}		
備考	プログラムの概要は「4.1LR5-LAN に接続」を参照		

3.2.3. ソケットをクローズ

関数名	void SocketClose()
パラメータ	なし
戻り値	なし
説明	LR5-LAN に接続したソケットをクローズする
関数の使用方法	// メイン関数
	int main(int argc, char* argv□)
	{
	// LR5-LAN に接続
	ret = SocketOpen("192.168.10.1", 10000);
	if (ret == −1) {
	return;
	}
	// ソケットをクローズ
	SocketClose();
	}
備考	プログラムの概要は「4.2 ソケットをクローズ」を参照

3.2.4. コマンドを送信

3.2.4. コマントを达信	1		
関数名	int SendCommand(char* sendData, int sendLength, char* recvData, int recvLength)		
パラメータ	char* sendData	送信データ	
	int sendLength	送信データのサイズ	
	char* recvData	受信データ	
	int recvLength	受信データのサイズ	
戻り値	int	成功:0、失敗:0以外	
説明	接続した LR5-LAN にデータを送信し	て、応答データを返す	
関数の使用方法	// メイン関数		
	int main(int argc, char* argv∏)		
	{		
	// LR5-LAN に接続		
	ret = SocketOpen("192.168.10.1"	″, 10000);	
	if (ret == −1) {		
	return;		
	}		
	// 送信データを作成		
	char sendData[7];		
	char recvData;		
sendData[0] = 0x41;			
	sendData[1] = 0x42;		
	sendData[2] = 0x53;		
	sendData[3] = 0x00;		
	sendData[4] = 0x00;		
	sendData[5] = 0x00;		
	sendData[6] = 0x01;		
	// コマンドを送信		
	ret = SendCommand(sendData, PNS_COMMAND_HEADER_LENGTH + sizeof(g		
	roupNo), recvData, sizeof(recvData));		
	if (ret != 0) {		
	puts("failed to send data");		
	return −1;		
	}		
	// ソケットをクローズ		
	SocketClose();		
	}		
 備考	プログラムの概要は「4.3 コマンドを送	信」を参照	
MIN . A			

3.2.5. PNS コマンドの動作制御コマンド送信

	「ひ期」「「即即コペン」「反信		
関数名	int PNS_RunControlCommand(PNS_RUN_CONTROL_DATA runControlData)		
パラメータ	PNS_RUN_CONTROL_DATA	LED ユニットの各色のパターンとブザーを制御	
	runControlData	する送信データ	
		詳細は「3.4.1 動作制御データ構造体」を参照	
戻り値	Int	成功:0、失敗:0以外	
説明	PNS コマンドの動作制御コマンドを送	信して、LED ユニットの各色のパターンとブザー	
	を制御する		
関数の使用方法	// メイン関数		
	int main(int argc, char* argv∏)		
	{		
	// LR5-LAN に接続		
	ret = SocketOpen("192.168.10.1",	10000);	
	if (ret == −1) {		
	return;		
	}		
	// PNS コマンドの動作制御コマン	ド送信	
	// LED パターン 0: 消灯		
	// LED パターン 1: 点灯		
	// LED パターン 2: 点滅(低速)		
	// LED パターン 3: 点滅(中速)		
	// LED パターン 4: 点滅(高速)		
	// LED パターン 5:シングルフラッシュ		
	// LED パターン 6:ダブルフラッシュ		
	// LED パターン 7:トリプルフラッシュ		
	// LED パターン 9:変化なし		
	// ブザーパターン 0:停止		
	// ブザーパターン 1:吹鳴		
	// ブザーパターン 9:変化なし		
	PNS_RUN_CONTROL_DATA runCo	ontrolData;	
	runControlData.ledRedPattern = PNS_RUN_CONTROL_LED_ON;		
	runControlData. ledAmberPattern= PNS_RUN_CONTROL_LED_BLINKING_SLOW;		
	runControlData. ledGreenPattern= PNS_RUN_CONTROL_LED_NO_CHANGE;		
	runControlData. ledBluePattern= PNS_RUN_CONTROL_LED_OFF;		
	runControlData. ledWhitePattern= PNS_RUN_CONTROL_LED_FLASHING_TRIPLE;		
	runControlDatabuzzerPattern = PNS_RUN_CONTROL_BUZZER_RING;		
	PNS_RunControlCommand(runControlData);		
	// ソケットをクローズ		
	SocketClose();		
	}		
備考	プログラムの概要は「0		
	PNS コマンドの動作制御コマンド送信	」を参照	

3.2.6. PNS コマンドのクリアコマンド送信

DD 444_ A	7	
関数名	int PNS_ClearCommand()	
パラメータ	なし	
戻り値	Int 成功:0、失敗:0 以外	
説明	PNS コマンドのクリアコマンドを送信して、LED ユニットを消灯し、ブザーを停止する	
関数の使用方法	// メイン関数	
	int main(int argc, char* argv□)	
	{	
	// LR5-LAN に接続	
	ret = SocketOpen("192.168.10.1", 10000);	
	if (ret == -1) {	
	return;	
	}	
	// PNS コマンドのクリアコマンド送信	
	PNS_ClearCommand();	
	// ソケットをクローズ	
	SocketClose();	
	}	
備考	プログラムの概要は「4.5PNS コマンドのクリアコマンド送信」を参照	

3.2.7. PNS コマンドの状態取得コマンド送信

1.2.2			
関数名	int PNS_GetDataCommand(PNS_STATUS_DATA* statusData)		
パラメータ	PNS_STATUS_DATA* statusData	状態取得コマンドの受信データ(LED ユニット	
		およびブザーの状態)	
		詳細は「3.4.2 動作制御の状態データ」を参照	
戻り値	Int	成功:0、失敗:0以外	
説明	PNSコマンドの状態取得コマンドを送	信して、LED ユニットおよびブザーの状態を取得	
	する		
関数の使用方法	// メイン関数		
	int main(int argc, char* argv∏)		
	{		
	// LR5-LAN に接続		
	ret = SocketOpen("192.168.10.1"	[′] , 10000);	
	if (ret == -1) {		
	return;		
	}		
	// PNS コマンドの状態取得コマンド送信		
	PNS_STATUS_DATA statusData;		
	PNS_GetDataCommand(&tatusData);		
	// ソケットをクローズ		
	SocketClose();		
	}		
備考	プログラムの概要は「4.6PNS コマンド	の状態取得コマンド送信」を参照	

3.3. 定数説明

3.3.1. 製品区分

定数名	値	説明
PNS_PRODUCT_ID	0x4142	LR5-LAN の製品区分

3.3.2. PNS コマンド識別子

定数名	値	説明
PNS_RUN_CONTROL_COMMAND	0x53	動作制御コマンド
PNS_CLEAR_COMMAND	0x43	クリアコマンド
PNS_GET_DATA_COMMAND	0x47	状態取得コマンド

3.3.3. PNS コマンド送信データバッファサイズ

定数名	値	説明
PNS_COMMAND_HEADER_LENGTH	6	製品区分からデータサイズまでバッファサ
		イズ

3.3.4. PNS コマンドの応答データ

定数名	値	説明
PNS_ACK	0x06	正常応答
PNS_NAK	0x15	異常応答

3.3.5. 動作制御コマンドの LED ユニットパターン

定数名	値	説明
PNS_RUN_CONTROL_LED_OFF	0x00	消灯
PNS_RUN_CONTROL_LED_ON	0x01	点灯
PNS_RUN_CONTROL_LED_BLINKING_SL	0x02	点滅(低速)
ow		
PNS_RUN_CONTROL_LED_BLINKING_M	0x03	点滅(中速)
EDIUM		
PNS_RUN_CONTROL_LED_BLINKING_HI	0x04	点滅(高速)
GH		
PNS_RUN_CONTROL_LED_FLASHING_SI	0x05	シングルフラッシュ
NGLE		
PNS_RUN_CONTROL_LED_FLASHING_D	0x06	ダブルフラッシュ
OUBLE		
PNS_RUN_CONTROL_LED_FLASHING_T	0x07	トリプルフラッシュ
RIPLE		
PNS_RUN_CONTROL_LED_NO_CHANGE	0x09	変化なし

3.3.6. 動作制御コマンドのブザーパターン

定数名	値	説明
PNS_RUN_CONTROL_BUZZER_STOP	0x00	停止
PNS_RUN_CONTROL_BUZZER_RING	0x01	吹鳴
PNS_RUN_CONTROL_BUZZER_NO_CHA	0x09	変化なし
NGE		

3.4. 構造体説明

3.4.1. 動作制御データ構造体

```
名前
                 PNS_RUN_CONTROL_DATA
定義
                 typedef struct
                    // LED ユニット赤色のパターン
                    unsigned char ledRedPattern;
                    // LED ユニット黄色のパターン
                    unsigned char ledAmberPattern;
                    // LED ユニット緑色のパターン
                    unsigned char ledGreenPattern;
                    // LED ユニット青色のパターン
                    unsigned char ledBluePattern;
                    // LED ユニット白色のパターン
                    unsigned char ledWhitePattern;
                    // ブザーのパターン 1~3
                    unsigned char buzzerMode;
                }PNS_RUN_CONTROL_DATA;
説明
                 動作制御コマンドで送信するデータエリアの LED ユニットの各色のパターンとブザー
                 の状態の構造体
```

3.4.2. 動作制御の状態データ

名前	PNS_STATUS_DATA
定義	typedef struct
	{
	// LED パターン 1~5
	unsigned char ledPattern[5];
	// ブザーモード
	unsigned char buzzer;
	}PNS_STATUS_DATA;
説明	動作制御の状態取得コマンドの応答データの LED ユニットおよびブザーの状態の構
	造体

4. プログラム概要

プログラムの動作を要点のみ記載する。

4.1. LR5-LAN に接続

プログラム	説明
main.cpp	
WSADATA wsaData;	→ソケット情報の構造体のメンバ変数を定義
SOCKET sock = NULL;	→ソケットのメンバ変数を定義
main.cpp SocketOpen()	
int SocketOpen(std::string ip, int port)	
// Initialize winsock2 if (WSAStartup(MAKEWORD(2, 0), &wsaData)) [→winsock2 の初期化
std::cout << "reset winsock failed" << std::endl; return -1; }	
<pre>// Create a socket sock = socket(AF_INET, SOCK_STREAM, 0); if (sock == INVALID_SOCKET) {</pre>	→ソケットのインスタンスを作成
std::cout << "make socket failed" << std::endl; return -1; }	
// Set the IP address and port struct sockaddr_in addr;	 →機器の IP アドレスとポート番号を指定
addr.sin_family = AF_INET; addr.sin_port = htons(port);	デフォルトの IP アドレス: 192.168.10.1
addr.sin_addr.S_un.S_addr = inet_addr(ip.c_str());	 デフォルトのポート番号:10000
// Connect to LA-POE	
if (connect(sock, (struct sockaddr*)&addr, sizeof(addr)	 →ソケットの Connect 関数で機器に接続
std::cout << "connect failed" << std::endl; return -1; }	
return 0; }	

4.2. ソケットをクローズ

```
プログラム 説明

main.cpp SocketClose()
void SocketClose()
{
    // Close the socket.
    closesocket(sock);
    // Exit process of winsock2
    WSACleanup();
}

→winsock2 の終了処理
```

4.3. コマンドを送信

各コマンドの送信データフォーマットの送信データを作成し、LR5-LAN にコマンドデータを送信する 各コマンドの送信データフォーマットは「0

PNS コマンドの動作制御コマンド送信」以降を参照

```
プログラム
                                                   説明
main.cpp SendCommand()
int ret;
if (sock == NULL)
    std::cout << "socket is not" << std::endl;
    return -1;
// Send
                                                   →作成した送信データをsend 関数で送信
ret = send(sock, sendData, sendLength, 0);
if (ret < 0)
    std::cout << "failed to send" << std::endl;
    return -1;
// Receive response data
                                                   →送信後に recv 関数で機器からのレスポンスを取得
std::memset(recvData, 0, recvLength);
ret = recv(sock, recvData, recvLength, 0);
if (ret < 0)
    std::cout << "failed to recv" << std::endl;
    return -1;
```

4.4. PNS コマンドの動作制御コマンド送信

プログラム	説明
main.cpp PNS_RunControlCommand()	
<pre>int ret; char sendData[PNS_COMMAND_HEADER_LENGTH + sizeof(runControl char recvData[1]; std::memset(sendData, 0, sizeof(sendData)); std::memset(recvData, 0, sizeof(recvData));</pre>	以下の順で送信データを作成 →1 バイト目:製品区分(A:0x41)
<pre>// Product Category (AB) sendData[0] = PNS_PRODUCT_ID >> 8; sendData[1] = (char)(PNS_PRODUCT_ID 0xFF00);</pre>	→2 バイト目:製品区分(B:0x42) →3 バイト目:識別子(S:0x53) →4 バイト目:空き(0x00)
// Command identifier (S) sendData[2] = PNS_RUN_CONTROL_COMMAND;	→5 バイト目:データサイズ(0x00) →6 バイト目:データサイズ(0x06)
// Empty (0) sendData[3] = 0;	→7~12 バイト目:データエリア データサイズは 6 バイト
<pre>// Data size sendData[4] = sizeof(runControlData) >> 8; sendData[5] = (char)(sizeof(runControlData) 0xFF00);</pre>	データエリアには「3.4.1 動作制御データ構造 体」の値を設定する
// Data area std::memcpy(&sendData[6], &runControlData, sizeof(runContro	
<pre>// Send PNS command ret = SendCommand(sendData, PNS_COMMAND_HEADER_LENGTH + siz if (ret != 0) { std::cout << "failed to send data" << std::endl; return -1; }</pre>	→「4.3 コマンドを送信・受信」を呼び出し、機 器にデータを送信
// check the response data if (recvData[0] == PNS_NAK) { // receive abnormal response std::cout << "negative acknowledge" << std::endl; return -1; }	→送信後に応答データを確認 正常応答: ACK(0x06) 異常応答: NAK(0x15)

4.5. PNS コマンドのクリアコマンド送信

プログラム	説明
main.cpp PNS_ClearCommand()	
<pre>int ret; char sendData[PNS_COMMAND_HEADER_LENGTH]; char recvData[1];</pre>	
std::memset(sendData, O, sizeof(sendData)); std::memset(recvData, O, sizeof(recvData));	以下の順で送信データを作成
// Product Category (AB)	→1 バイト目:製品区分(A:0x41)
sendData[0] = PNS PRODUCT ID >> 8;	→2 バイト目:製品区分(B:0x42)
sendData[1] = (char)(PNS_PRODUCT_ID 0xFF00);	→3 バイト目:識別子(C:0x43)
// Command identifier (C)	→4 バイト目 : 空き(0x00)
sendData[2] = PNS_CLEAR_COMMAND;	→5 バイト目:データサイズ(0x00)
// Empty (0) sendData[3] = 0;	→6 バイト目:データサイズ(0x00)
	データサイズは 0 バイト
// Data size sendData[4] = 0; sendData[5] = 0;	データエリアは無し
<pre>// Send PNS command ret = SendCommand(sendData, PNS_COMMAND_HEADER_LENGTH, recv if (ret != 0) { std::cout << "failed to send data" << std::endl; return -1; }</pre>	→「4.3 コマンドを送信・受信」を呼び出し、機器にデータを送信
// check the response data if (recvData[0] == PNS_NAK) { // receive abnormal response std::cout << "negative acknowledge" << std::endl; return -1; }	→送信後に応答データを確認 正常応答: ACK(0x06) 異常応答: NAK(0x15)

4.6. PNS コマンドの状態取得コマンド送信

プロ	コグラム	説明
int	in.cpp PNS_GetDataCommand() PNS_GetDataCommand(PNS_STATUS_DATA* statusData)	
1	<pre>int ret; char sendData[PNS_COMMAND_HEADER_LENGTH]; char recvData[sizeof(PNS_STATUS_DATA)]; std::memset(sendData, 0, sizeof(sendData)); std::memset(recvData, 0, sizeof(recvData)); std::memset(statusData, 0, sizeof(PNS_STATUS_DATA));</pre>	以下の順で送信データを作成 →1 バイト目:製品区分(A:0x41) →2 バイト目:製品区分(B:0x42)
	<pre>// Product Category (AB) sendData[0] = PNS_PRODUCT_ID >> 8; sendData[1] = (char)(PNS_PRODUCT_ID 0xFF00);</pre>	→3 バイト目:識別子(G:0x47) →4 バイト目:空き(0x00)
	// Command identifier (G) sendData[2] = PNS_GET_DATA_COMMAND;	→5 バイト目:データサイズ(0x00) →6 バイト目:データサイズ(0x00)
	// Empty (0) sendData[3] = 0;	データサイズは 0 バイト データエリアは無し
	// Data size sendData[4] = 0; sendData[5] = 0;	ナーダエリアは無し
	<pre>// Send PNS command ret = SendCommand(sendData, PNS_COMMAND_HEADER_LENGTH, recvData if (ret != 0) {</pre>	→「4.3 コマンドを送信・受信」を呼び出し、機 器にデータを送信
	<pre>std::cout << "failed to send data" << std::endl; return -1; }</pre>	>>/=///
	// check the response data if (recvData[0] == PNS_NAK) {	→送信後に応答データを確認 正常応答:「3.4.2 動作制御の状態データ」の 応答データが取得される
	<pre>// receive abnormal response std::cout << "negative acknowledge" << std::endl; return -1; }</pre>	異常応答: NAK(0x15)
	// LED unit R pattern 1 to 5 std::memcpy(statusData->ledPattern, &recvData[0], sizeof(statusD	以下の処理で応答データの各データの取得 →LED ユニットの状態
	<pre>// Buzzer Mode statusData->buzzer = recvData[5];</pre>	・1 バイト目:LED ユニット赤色の状態・2 バイト目:LED ユニット黄色の状態
}	return O;	•3 バイト目:LED ユニット緑色の状態 •4 バイト目:LED ユニット青色の状態
		・5 バイト目:LED ユニット白色の状態 ・6 バイト目:ブザーの状態
		- C. VII ロ. ファ の 仏法